

2025年12月24日

各位

会社名 シンバイオ製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼CEO 吉田 文紀
(コード番号: 4582)
問合せ先 IR室 (TEL.03-5472-1125)

**ポリオーマウイルス感染症の治療に関し、
ペンシルベニア州立大学からIV BCVのグローバルの独占的権利取得**

シンバイオ製薬株式会社（以下、シンバイオ製薬）はIV BCV（プリンシドホビル注射剤）に関して、ペンシルベニア州立大学医学部との共同研究の対象であるポリオーマウイルス感染症治療薬開発について、その成果を基に特許出願しておりましたが、この度、グローバルの独占的事業化を目的としてペンシルベニア州立大学とライセンス契約を締結したことをお知らせします。

当社は、当該特許出願に基づくIV BCVの開発・商業化についてグローバルの独占的権利を有することになり、一日も早い事業化に向けて展開してまいります。なお、当該特許出願の特許協力条約（PCT）に基づく国際出願を既に完了しております。

現在、ポリオーマウイルス感染症治療領域（腎臓移植のBKウイルス腎症、進行性多巣性白質脳症等）は確立された標準療法はなく、新薬の開発が強く切望されています。2024年7月に本共同研究成果についてはmBIO誌に掲載されており、IV BCVがポリオーマウイルス感染症の有力な治療薬となる可能性を示唆しています。

吉田文紀社長兼CEOのコメントです。「腎臓移植後のBKウイルス腎症およびJCウイルス感染による進行性多巣性白質脳症は優れた治療薬がないため深刻な状況であり、一日も早くIV BCVを提供できるよう開発を進めてまいります。」

なお、本件が2025年12月期業績予想に与える影響はありません。

以上

注記

1) ポリオーマウイルス感染症について

【BK ウィルス腎症(BKVN)】

腎臓移植後の免疫抑制状態の患者において BK ウィルスが再活性化することにより、移植腎に障害（炎症、機能低下、最終的には腎機能廃絶）を引き起こす重大な合併症です。大人の 80~90%が感染している BK ウィルスは、通常、無症状で尿路系細胞に潜伏しています。腎移植などで免疫抑制剤を使用すると、このウィルスが抑制から逃れて再活性化します。腎移植後の BKVN の患者数は、日米欧合わせて約 8,000 人と推計されています。

【進行性多巣性白質脳症 (PML)】

PML は、免疫不全および細胞性免疫が低下した患者において JC ウィルスが再活性化して起こる希少疾患であり、致死率が高い難病です。現在、標準治療法はなく新たな治療薬が切望されています。

2) ペンシルベニア州立大学医学部との共同研究成果（[リンク：ペンシルベニア州立大学医学部が研究成果による知見を発表 ポリオーマウイルスの感染性ウイルス産生を抗ウイルス薬プリンシドホビルが抑制](#)）をご参照ください。

3 本の治療領域を柱とした BCV の事業戦略

シンバイオ製薬は 2019 年 9 月に BCV のグローバルライセンスを取得して以来、3 つの治療領域において、そのポテンシャルを掘り起こすことを目的として世界最高レベルの研究機関と共同研究を進めてきました。現在、対象疾患領域として、第 1 の柱である造血幹細胞移植後のウイルス感染症領域をはじめ、第 2 の柱として血液がん・固形がん領域、第 3 の柱として脳神経変性疾患領域の 3 治療領域を中心に経営資源を集中して開発を進め、グローバルに事業展開をすることにより BCV の事業価値の最大化を目指しています。